

●木津川クリーン大作戦 11日9時～南山城村から八幡の御幸橋までの要所ポイントでの取り組みでした。前日の夜半から朝にかけて雨が降りました。少し悪条件だったのですが、全体の参加者は前年度並みということで600人ぐらいの参加となりました。この運動も随分と定着してきたようです。やましろ里山の会の受け持ちは山城大橋東詰め橋の下の広場でした。この日の責任者は森島保理事が受け持ちました。集合時間には深田さん他2名が集まって下さいました。一週間前には木津川マラソンの駐車場として使うので、ゴミを完全に拾いました。終わった後もきれいに清掃したつもりですが、実際に探してみるとごみ袋15袋も拾い集めることになりました。参加人数からすると一人当たりの集積率は最高ではなかったということになります。此処は通行車両が多くて、信号待ちから新たな出発点にもなります。一方かなりの自転車や歩行者も多くて、ポイ捨て率が高いのではないかと思います。寒さが厳しかったのですが、ご参加いただいた皆様ご苦労様でした。

●第1回地域説明会 宇治市で始まる 2月12日(月) 宇治市南コミセン大集会所 里山の会が結成されて20年が経過し、21年目を歩んでいます。この20年の歩みで、数々の調査観察活動を積み上げました。炭焼き・稲づくり体験、野菜栽培、里山農園に教育棟や観察台の設置、数えればきりがありません。そして希少植物や希少動物の発見、希少昆虫の発見、数々の成果を積み上げました。そして木津川に竹蛇籠の設置、中聖牛の設置、河床低下の問題提起、そして機関誌「里山の自然」の連続発行、里山週刊ニュースの発行、春秋の講演会の開催は43回を数えました。こうした取り組みを総合的にまとめられたものが、山城の歴史(京都府山城教育局の発行)、そして里山の会が再発行した木津川はどんな川(一部国交省淀川事務所発行)をもって語りつくせるのではないかと、この度の地域説明会を山城5市での展示発表会として開催しています。その第1回が2月12日(月)の宇治市大久保・宇治市南コミセンで初回として開催しました。この日の展示物は発刊物(10種類)に加えて、フレームポスターで97枚にまとめました。そして、解説には桂川で活躍する仁枝洋河川レンジャーアドバイザーから1時間のお話をいただきました。続いて、現職レンジャー山田信人氏から30分、居原田レンジャーからも15分間の活動報告をお聞きしました。展示物は大会議室の全ブース27枚を使って、上段と下段の二段階展示というにぎやかなものでした。会議机に並んだ発刊物も見事でした。里山の研究成果の一端がわかりやすく展示されていました。会場にゆとりがあればと思いました。蛇籠などの現物展示などが加われば本当に楽しいものになると思われました。回を追って充実させていきたいと思っています。多くに皆様のご参加をお待ちしています。お話になった内容は、仁枝洋氏 河川レンジャーアドバイザー(桂川)桂川クリーン大作戦を報告、山田信夫氏 木津虎口と木津川における水質調査について報告、居原田氏 宇治川における清掃作業の報告でした。また出版物のご注文もいただきました。

●1週間連続展示 里山展始まる 13日(火)～18日(日) 地域説明会の12日(月)に引き続き13日(火)には京田辺市中央図書館ギャラリー「かなび」で毎年恒例の里山展を開いています。18日(日)までの6日間です。此処では山城の歴史と木津川はどんな川についての発表としています。地域説明会と里山展の二つの重複した展示会の開催は、スタッフにとってかなりきついものですが、里山の会の発表資料がそれだけ豊富で、取り組んできた「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンの実践を考えると、難しいようでしたが、積み上げてきた経験と実績によって二日連続の展示となりましたがかなり見事に作り上げることができました。また間もなく木津川展の開催にも出展することになっており四方八方にかかわりがあって大変な状況でもあります。

大阪の八軒屋浜の京都の子どもの水辺の展示会にもポスターを展示しています。此処は北野君が分担していただきました。地域説明会の日程が合わない方は、日曜日 18 日まで開催期間がありますので、ぜひお越しください。なお、まもなく木津川流域センター（山城町でも）木津川展も開催されます。竹蛇籠や木津川の草花たちも展示いたします。年度末の多忙な折りですが、ぜひ一度お越しください。なお今年の第 23 回自然と環境講演会は 3 月 3 日(土)京田辺市河原の田辺府営団地第 2 集会所で、「地域説明会」「木津川はどんな川」と重ねて開催いたします。講師は京都産業大学教授鈴木康久氏にお願いしております。こちらにもこぞってご参加をお願いいたします。3 月は主要な会場が確定申告のために借用できなかったので田辺府営団地の集会所となりました。無料駐車場が北隣にあります。

●中聖牛の取組記録集第 1 次分完成できました。印刷用紙が写真用紙なので、かなり高価なものになっていますがご注文をいただければ早速お届けいたします。会場でもご注文をお受けいたします。

●夏原グラント活動資金申請 3 月 3 日(日) プレゼンテーション案内届く 昨年に引き続き申請いたしましたところ、早速内容紹介の場が用意されたので発表に来るようにとの連絡が来ました。昨年は大村理事長がプレゼンテーションを行いました。今年も同様に行いたいと思っています。

●第二回目の第 2 回地域説明会 18 日(日)、八幡文化センターです。開場は午前 10 時からとなっています。お楽しみの講師の出番は、14 時と予定しています。講師をお願いしているのは京都大学准教授の竹門康弘先生です。専門は底生生物の研究者ですが、京の川の恵みを活かす会の主催者でもあって川魚にも大変詳しいお方です。ご期待に応える耳寄りなお話が聞けると思っています。報告については里山の会の昆虫の世話人をしている金田徹さんからとっておきのお話が聞けると思っています。ご近所お誘いの上ご参加してください。資料は 100 枚以上を展示します。

●第 3 回地域説明会 2 月 24 日(土)城陽市北コミセンの大集会所です。できれば山城の歴史と木津川はどんな川のポスター 70 枚以上の完全展示ができればと思っています。お話は須川恒准教授さんです。とりわけ野鳥に関して大変詳しいお方です。ぜひ野鳥に関心をお持ちの皆さんにとっては聞きのがしてはならないと思います。皆さんのご参集をお待ちしています。

●昆虫関係の皆さんへ 16 日(金)午前 10 時からカスミサンショウウオの調査を行います。集合場所は普賢寺小学校前で、里山農園教育棟を拠点に取り組みます。成体が見つけれられるかもと大きな期待をしています。本会顧問の桜谷保之先生にご指導をいただきます。ウイークデーですが、多数のご参加をお願いいたします。

●今年一年間木津川の希少種植生調査を毎月定期的に実施いたします。16 日金曜日午後 1 時 30 分に説明会を植物部会の皆さんを中心に開きます。ご一緒にご協力いただける皆さんを歓迎いたします。ご一緒に調査いたしませんか。お越しいただき説明をお聞きくださるとありがたいです。